

AD-5689みはりん坊ミニをはじめてお使いになる方へ

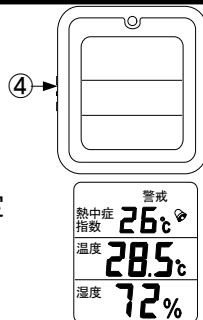
本誌は、AD-5689みはりん坊ミニをはじめてお使いになる時にお読みください。
また別紙の取扱説明書は必ずお読みください。

1. ご使用の前に(準備)

1-1 電源を入れる

1 ご購入時、本体にはお試し用の電池が内蔵されていますので、本体左側の電源スイッチ④をオンにしてください。

2 電源が入ると表示が全点灯し、約2秒後に現在の測定値が表示され、すぐにお使いになれます。



2. 熱中症指数と熱中症の予防

2-1 日常生活における熱中症予防指針の表示

本器では、日本気象学会が策定した「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1,2007年、に基づき、熱中症指数(暑さ指数、WBGT)の基準に準拠して、表示部の一番上に「危険」・「嚴重警戒」・「警戒」・「注意」の警告が表示されます。本製品が表示する熱中症指数(暑さ指数、WBGT)の数値と、注意すべき生活活動の目安および注意事項について、下の表のように日本気象学会が熱中症の予防指針として策定しています。

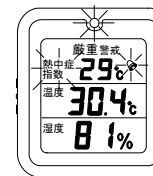
表. 日常生活における熱中症予防指針

温度基準 熱中症指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	全ての生活活動でおこる危険性がある	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28~31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性がある	運動や激しい作業をする際は、定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1(2007年11月)より転記(一部追記)
ここでのWBGT値はその日の最高気温時の気温と湿度から推定されるものである。28~31℃は、28℃以上31℃未満の意味)

2-2 熱中症指数とアラーム動作

■ 熱中症指数が28℃~30℃に達すると表示の一番上に「**嚴重警戒**」と表示され、さらに■ 熱中症指数が30℃以上になると「**危険**」と表示されます。これと同時にブザー音が鳴り、「アラームマーク」と「熱中症指数」の文字が点滅し、「**嚴重警戒**」の場合は黄色、「**危険**」の場合は赤色のアラームランプ(LED)が点滅します。

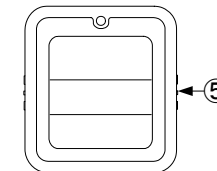


アラームランプとブザー音は連動し、初めに「嚴重警戒」の場合は20秒間、「危険」の場合は30秒間「ピッ」「ピッ」「ピッ」…と連続して動作します。その後、熱中症指数がアラーム範囲にある間、1分間隔で単発的にアラームランプとブザー音が動作します。

熱中症指数が28℃以上では「アラームマーク」と「熱中症指数」の文字はずっと点滅します。熱中症指数が28℃未満になるまで、1分間隔で単発的にアラームランプとブザー音が動作します。

3. アラーム・ブザー音の オン / オフ

本体右側のアラーム音ON/OFFスイッチを「OFF」に切り換えることで、アラーム動作時のブザー音を消音します。スイッチを上側にするとブザー・オン、下側に切り換えるとブザー・オフになり、この時はアラーム動作中にブザー音が消音されるだけで、他のアラーム動作は変わりません。



4. ご使用にあたって

■ 本製品は熱中症を完全に防止できるものではありません。温度、湿度、輻射熱などの温熱環境や性差・年齢・既往症・基礎疾患・健康状態などの個人差、運動・労働・日常生活活動など様々な要因が作用して熱中症が発症します。使用中のアラームの有無に関わらず、気分が悪くなった場合には、速やかに医師の診察を受けるなど適切な処置が必要です。

■ 本製品は、屋内および屋外の太陽照射のない場所で使用して下さい。太陽照射のある場所や、周囲と異なる熱源の近くで使用すると正しい測定ができません。